

(株)ニチレイ社有地 第4回植物相調査報告

2014年7月15日(火)に、黒沢研、塘研、木村研、難波研、廣瀬先生の連携研究「裏磐梯湖沼の生物相および周辺植生の総合調査」の一環として、黒沢研究室の2名(博士課程1年の首藤さん、4年 遠藤)で、(株)ニチレイ社有地の第4回植物相調査を実施しました。

今回の調査では、まず3の池を一周しました。ちょうど3の池の南側に、林冠から林床まで光が多く差し込んでいるにもかかわらず、林床に植物があまり見られない流れ山があり、不思議でした。また、前回の調査で発見した旧桧原湖探勝路を、新たな区間でも発見しました。さらに、(株)ニチレイの社有地であるのか不明な場所なのですが、避暑地の裏磐梯高原の中でもひととき涼しい、まるで風穴のような環境の岩場を発見しました。この日は最高気温が30度前後だったので、発見した時は驚きでした。高山植物が自生していたことから、いかに涼しい場所であるかが分かります。仮に(株)ニチレイの社有地であれば、今回の調査で発見した多様な環境を、継続的に調査していきたいと考えています。

今回も、首藤さんのご指導のおかげで、多様な植物を採集することが出来ました。今回までの調査で、約170以上の植物を採集しました。多様な環境・植物など、この地域の自然がいかに豊かであるかを改めて感じる事が出来ました。次回の調査は、7月27日を予定しています。



写真1, 新旧桧原湖探勝路の合流地点



写真2, 冷涼な岩場



写真3, 流山で発見した小鳥